

僕の気持ちは複雑だった

しかし、あの時、一年生の担任の先生は
優しそうな 男の先生で、
僕は すぐに 仲良しになった。

僕が まったく勉強しないので、

放課後も 教員室へ行き、

勉強を 先生に 教えてもらってから 帰った。

その帰りに 京都駅の 高橋（たかばし）で
よく先生に 中華そばを ごちそうになった。

おばとこで 中華そば 呼ばれていた時、
そのことを 思い出していた。

未知への恐怖が 僕を 襲っていたが、
その中華そばの おいしい思い出もあり、
僕の気持ちは 複雑だった。

四時三十分頃、本町を出て、
疏水沿いを 七条京阪の駅に向かって 歩いた。

七条京阪の駅で 電車を 待っていると、
そばの疏水の水が うずを巻いて
どす黒い緑色で こわい感じだった。

家に帰り、夜は 代数を 少しした。
すぐ 床に入って、この日記を書き出した。

今日の新聞の言葉、「良き世界は良き人々によって築かれる。」とあった。